

左派予備選挙選挙第一回投票 大注目の結果は？！ フランス大統領選挙2017速報

1月22日（日）、左派・社会党の大統領選挙候補者をえらぶ予備選挙（la primaire）の第一回投票がおこなわれ、即日開票されました。開票の結果、大麻の合法化に賛成の意見を表しているブノワ・アモン（Benoît Hamon）氏が、得票率36.34%を獲得し、マニュエル・ヴァルス（Manuel Valls）前首相（得票率31.12%）をおさえ、トップに躍り出ました。注目されていたアルノー・モントゥブール（Arnaud Montebourg）氏やヴァンサン・ペイヨン（Vincent Peillon）元教育大臣を大きく引き離す結果となりました。詳しい得票率は以下の通りです。

- ・ブノワ・アモン 36.34%
 - ・マニュエル・ヴァルス 31.12%
 - ・アルノー・モントゥブール 17.53%
 - ・ヴァンサン・ペイヨン 6.85%
 - ・フランソワ・ドゥ・リュジー（François de Rugy） 3.88%
 - ・シルヴィア・ピネル（Sylvia Pinel） 1.97%
 - ・ジャン-リュック・ベナミアス（Jean-Luc Bennhamias） 1.01%
- （2017年1月23日 日本時間午前8時20分時点）

この結果を受け、ブノワ・アモンとマニュエル・ヴァルス両氏による決選投票が1月29日に行われ、最終候補者が確定します。

執筆：Daisuke

オンラインフランス語学校
ENSEMBLE EN FRANÇAIS
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

